



日本スーパーマーケット協会

平成24年1月 マンスリー レポート

集計企業数 60 社

① 売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	47,730,768 万円	100.0%	101.2% (101.9%)	45,169,321 万円	98.1% (99.3%)
食 料 品	38,902,972 万円	81.5% (81.1%)	101.3% (101.7%)	36,795,788 万円	98.2% (98.9%)
農 産	5,775,452 万円	12.1% (10.9%)	102.9% (100.2%)	5,470,429 万円	100.0% (97.5%)
水 産	4,155,297 万円	8.7% (9.2%)	100.1% (101.6%)	3,925,564 万円	97.2% (98.9%)
畜 産	4,652,090 万円	9.7% (9.7%)	100.1% (101.7%)	4,389,661 万円	97.0% (98.9%)
惣 菜	4,189,195 万円	8.8% (8.5%)	103.3% (102.9%)	3,955,416 万円	100.0% (99.7%)
日配食品	8,460,378 万円	17.7% (17.3%)	101.6% (101.3%)	7,986,707 万円	97.9% (98.5%)
加工食品	11,670,560 万円	24.5% (25.5%)	100.6% (102.2%)	11,068,011 万円	97.8% (99.6%)
生活関連	3,517,901 万円	7.4% (7.7%)	97.6% (97.9%)	3,371,666 万円	95.9% (96.3%)
衣 料 品	2,053,311 万円	4.3% (4.2%)	97.6% (106.0%)	1,981,411 万円	96.9% (105.2%)
そ の 他	3,256,584 万円	6.8% (7.0%)	105.6% (107.5%)	3,020,456 万円	100.6% (103.7%)

② 数 値

全店総売上高	47,730,768 万円	店 舗 数	4,146 店舗
総売場面積	7,915,900.3 m ²	総従業員数	227,323 人

店舗平均月商	11,512.5 万円	平均客単価 (前年同月比)	1,872 円 (98.2%)
月間m ² 売上(前月)	6.0 万円 (7.0 万円)	平均店舗面積	1,909.3 m ²
月間坪売上(前月)	19.9 万円 (23.0 万円)	パート比率(前月)	76.9% (76.7%)

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・中旬以降の「大寒波」の到来による日本海側を中心とした大雪の為、大幅に客数が減少したことが原因となり売上が不振だった
- ・1月は、例年消費支出が低い月であり、追い打ちをかけるような気温の低下により夕方以降の客数が伸びなかった
- ・お客様の買い回り動向をみると、余分なものは買わないが、良質なものをきちんと提案すれば購入する一方で、低価格帯商品も支持されていることから、消費の二極化は今後も続く傾向にある

《 商品動向 》

○ 農 産

- ・野菜は干ばつ、冷え込みの影響を受け相場が高騰。鍋物商材を中心に相場高となり不振だった
- ・野菜は、サラダ類が好調でチェリートマトや相場高の中でキャベツ、きゅうり、レタスなどが伸びた
- ・主力のジャガイモ、たまねぎ、にんじんが相場安の影響を受けて、販売点数は伸びたが単価ダウン分をカバーできなかった
- ・果物は、食味の良かったみかん、グレープフルーツや小玉のキウイフルーツの販売が好調だった

○ 水 産

- ・寒ブリの時期となり、相場安の養殖ブリは売上好調だったが、天然ブリは不漁により前年を下回った
- ・生サバは、千葉・静岡産を中心としたマサバや三重県産ゴマサバの水揚げが豊漁で好調だった
- ・気温低下でたらは大きく伸長するが、生カキは不振だった。その他の鍋物素材（はまぐり、つみれ）も不振だった

○ 畜 産

- ・放射能セシウム問題の影響でまだ牛肉の売上は不振だった
- ・寒い日が続いたこともあり、しゃぶしゃぶ、すき焼き、つみれ団子等鍋物商材の動向は良かった
- ・鶏肉は昨年の鶏インフルエンザの影響から昨比は越えたが、豚肉と加工肉は主力商品の売上、点数が伸びず畜産全体では厳しい月となった

○ 惣 菜

- ・春商材の菜の花からし和え等の調理品が好調だった
- ・受験シーズンに向けて、とんかつ、フライ、カツ関連の商材が好調。夜食としてスナック等も好調だった
- ・関西地区では、冬の節電を呼びかける中で夕食のおかずにするフライ・天ぷらが好調だった

○ 日配・加工食品

- ・即食系のパンは引き続き好調。簡便調理食品の冷凍麺や家庭でちょっと美味しいものを提案しているデザートが好調だった
- ・TVの話題食品として、ゆず、塩麴等が紹介され、関連商品も含め動向は良かった
- ・寒い日が続いているためか、パウチタイプの鍋用つゆやスープが好調だった

○ 「正月商戦・成人の日」について

- ・年末に引き続き年始も好調な動きを示し、刺身盛り合せ、にぎり寿司が好調だった
- ・成人の日に合わせ、ステーキ、寿司、パーティーメニューを品揃えするが、年々家庭で祝うことが減少し普段通りの祭日であった

○ 「受験生応援」について

- ・キットカット、ハッピーターン、東ハトカナエルコーン等の受験生パッケージで展開するが年々下回ってきている
- ・受験シーズンに合わせて、とんかつフェア等の企画は伸びている。その他、レトルトおでんや夜食用の冷凍食品が伸長した

○ 「花粉症・インフルエンザ対策」について

- ・風邪やインフルエンザの予防、花粉症、ダイエット効果があるとTVで取り上げられて、ヨーグルトが好調で品薄になった。特に機能性ヨーグルトは品切れ状態だった
- ・昨年は飛散量が多く早めの展開で花粉症対策コーナーを展開したが、今年は気温が低かったことから花粉キャンディ・甜茶の展開を2月へシフトした

以上